

令和2年度第2回稲沢市総合教育会議 会議録

1. 日 時 令和3年2月17日(水) 午後2時45分～4時02分

2. 場 所 稲沢市役所 議員総会室

3. 出席者

市 長 加藤 錠司郎

教 育 長 恒川 武久

教 育 委 員 吉川 繁樹 小川 仁美

江本 弘子 城 義政

伊藤 浩樹

教育委員会

教 育 部 長 荻須 正偉 部次長兼生涯学習課長 岩田 勝宏

庶 務 課 長 榊山 隆夫 庶務課統括主幹 森 義孝

学校教育課長兼指導主事 吉田 剛往 学校教育課統括主幹 近藤 慎二

学校教育課主幹 野村 征典

スポーツ課長 長崎 真澄 図書館長 塚本 ゆかり

美術館長 山田 美佐子

庶務課主幹 大崎 敬介 書記 庶務課 山田 菜摘

4. 傍聴人の数 4人

5. 協議・調整事項

(1) G I G Aスクール構想の推進について

① I C T支援員の配置について

②今後の展開(学校長期休業時におけるオンライン授業)について

(2) 中学生の制服のあり方について

(3) 屋内運動場のトイレのバリアフリー化について

6. その他

— 開 会 —

●庶務課長

定刻になりましたので、令和2年度第2回稲沢市総合教育会議を開会します。それでは、初めに加藤市長から御挨拶申し上げます。

(市長あいさつ)

●庶務課長

ありがとうございました。本会議は稲沢市総合教育会議設置要綱第5条第1項の規定により市長が議長を務めることとなっておりますので、会議の取り回しについては、市長にお願いいたします。

◎市長

規定でありますので、議長を務めさせていただきます。進行に御協力をお願いします。

それでは、協議事項に入ります。「G I G Aスクール構想の推進について」を協議したいと思えます。新聞紙面や各ニュースなどから、コロナ対策として、「オンライン授業」や「リモート授業」の実施が広がっています。

稲沢市としても一人一台のタブレット端末整備に向けて着々と準備を進めております。整備後も様々なサポートが必要になってまいります。そういった事も含めて、担当課から今後の施策について説明をお願いします。

●学校教育課長

(別添の資料により説明)

◎市長

ありがとうございました。今年度末、3月末までには児童生徒一人一台のタブレットが配備されます。先程最後に話がありましたように、去年は3月2日から長期の休業になり、卒業式については来賓の方は御遠慮いただくという形で対応させていただきました。

4月5日、市役所に非常に多くのメールが来まして、急遽副市長、教育長に集まっただき、入学式をどうするかという話をしました。そこから始業式、入学式は何とか行いましたが、5月末まで長期の休業が続いたわけであります。そういった非常に苦い経験を含めて、タブレット整備を進めたわけでございます。非常に大きな国費また市費を投入して進めたタブレット整備でございますけれども、これにつきまして一番大きな問題は、配備したタブレットが宝の持ち腐れにならないように先生方の指導体制の要としてICT支援員が必要ということで、来年度からのタブレット活用のために支援員の配置を考えていることを説明させていただいた通りでございます。日本の教育のデジタル化の遅れも指摘されています。そういったことに対して教育委員の皆様方から御意見を

賜れればと思います。

最初に委員から何か思うところがございましたら、よろしく願いいたします。

○委員

既に他県でG I G Aスクールについて同じように勉強されている学校教員がいると思いますが、I C T支援員に関しまして各校に何人ぐらい配置ができるのか、市内でのI C T支援員の皆様の情報共有はされる予定なのかということをお伺いしたいと思います。

◎市長

文部科学省は4校に1人と言っており、来年度に向けて検討しているところですが、4校に1人という稲沢市は32校ございまして、8人必要ということになります。中々大変な金額となり考えているところですが、4校に近いところで色々な規模の学校がありますので、学級数などに応じて配置をしたいと考えているところです。そしてそのあり方等については、学校教育課の方から今の御質問に対して回答ございますか。

●学校教育課主幹

情報共有ですが、「稲沢市G I G Aスクール構想推進委員会」というものがありまして、学校の先生方を中心に組織されている委員会でございます。そこには学校教育課の職員も入っていますが、そういった場で、色々検討をしております。来年度以降もその場を使って情報交換などを検討していきたいと思っております。また、I C T支援員も8人に近い形でということで市長からお話がありましたが、それを取りまとめる役の方もいらっしゃいますので、そういった方々から色々な情報共有や指示がなされていくと考えています。

◎市長

まだ議決がございませんので、予算が決まってからI C T支援員を実際に雇用するということになります。その時にI C T支援員同士の情報共有という話だったと思いますが、その点についてはどうでしょうか。

●学校教育課長

先ほど8人で近い形で話がありましたが、8人に近い人数をまとめる方がおりまして、その方は資格を持った方を予定しておりますので、その方を中心に8人に近い方々と連携を取りながらより有効にI C T支援員の方に活躍していただきたいと考えております。

◎市長

委員今回初めてということになりますが、このような形で市長と教育委員の

方と行っておりますので、よろしく申し上げます。御意見ございましたら、医師としての御立場からでも結構でございます。何か御意見ございましたら、よろしく申し上げます。

#### ○委員

一つは最近ペーパーレスになってタブレット端末を使って会議をやったり、授業をやったりしますが、残しておきたい資料も見ているとあります。それは記憶媒体に自分で保存できたりしますか。またその部分だけをプリンターで打ち出すことが出来るかというところが非常に気になります。画面を見ていると会議もそうですが、流れて行ってしまい、後から見直そうと思ってもどの部分だったかわからなくなってしまい、必ずしもタブレットでみるだけが良いという訳ではないと思います。その点を考えていただければありがたいと思います。

#### ◎市長

教科書で全て電子媒体になるわけではありません。紙の教科書もありますので、それも使いながらということだと思いますが、学校教育課の方からよろしく申し上げます。

#### ●学校教育課長

児童生徒が使いますタブレット端末の中に色々な機能が入っております。

まずは元から入っているソフトを使った Windows10 を予定しておりますので、Microsoft365 の中に入っている機能もございますし、今回稲沢市の児童生徒のために構成した機能も入っています。その中に「発表ノート」という機能がありまして、先生の御指摘のようにその場で発表できるような画面を自分で作成することをやっていきながら、その都度自動で保存ができます。児童生徒はいつでも自分の以前の学習の振り返り等を確認しながら、学習を進めることが出来る仕組みとなっております。

#### ◎市長

そういったもので保存ができる、自分達が発表したものについても保存ができるということでございます。それでは委員、何かございましたら、よろしくお願いたします。

#### ○委員

これからGIGAスクール構想ということで、先生方も非常に大変な思いをされているかなと思っています。私自身が思っていることを資料を見ながら言うと、資料1の「個別最適化された学び」とありますが、そのステップ1ということで「すぐにでも」、「どの教科でも」ということでやはりタブレットもツールとして何が出来るのか先生方で共通認識していただいて、やれることが

何かということからスタートされるといいと思います。資料2の「タブレット端末の活用目標」というのがあり、令和3年度は量的「1日1～2回以上の活用」、質的「おおむね教師の指示により活用」とあります、最初はこのようなスタートかなと思います。一番心配されることは、保護者は一人一台タブレットを持っているということは分かっておりますので、まず32校が同じ歩調でやることができるのかということ、校内でどの先生も活用してみえるのかどうかということ、非常に簡単そうで難しい課題ではないかと思います。このあたりをそれぞれしっかりやっていただければと思います。オンライン授業のあり方ということで、これについて先週東海市で連合会の理事会が開催され、他市町と情報交換をする予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたので、お聞きする機会がなくなってしまいましたがおっしゃっていることは、やはり中国やアメリカと日本で調べまして、2ヵ月、3ヵ月の休業期間にオンライン授業をやったという実績がアメリカや中国だと90%やっております、日本はかなり低いという現状で遅れをとっている状況でした。オンライン授業は2つの方法があり、一つは双方向の使い方、意見交換しながらやるということについてはかなりまだハードルが高いと思いました。それは家庭環境がきちんと整っていないと難しい、いわゆる大容量のネットがどの家庭でも繋ぐことができる状況でないと難しい、もう一つのオンデマンド方式のオンラインは、できるのではないかと思います。学校で用意した物を各家庭でこれはスマートフォンからも見れるのではないかと思います。各家庭でそれぞれが自分でやっていくということで、ペーパーでそれぞれの家庭で宿題が出されていたと思いますが、それをオンラインで出していく、問題を解決していく、そのようなことができるのではないかと思います。徐々に取り組んでいかれたらいいかなと思います。

◎市長

ありがとうございます。家庭のICT環境について昨年度の調査をした結果があると思いますので、発表していただけますか。

●学校教育課長

5月12日に調査をさせていただきました。全校というわけではなく小学校4校、中学校2校を地域性や学校規模を考慮しながら選びまして、調査をしたところ、ご家庭にWi-Fi環境が整っているところについては、全て6校とも90%以上整っておりました。

◎市長

90%以上のご家庭には、Wi-Fi環境は整っているという状況ではありますが、

全てのご家庭で整っているわけではありませんので、もし双方向は難しいとして、学校側から配信するにしてもそれをスマートフォンやご家庭のタブレットで見るにしても制限のかかる家庭もあると思います。そうするとそういったご家庭の子供たちは学校に来て、去年も実際には自主登校教室というものを開いて学校に来ていただいたこともありましたが、そういったことも必要ではないかと私も考えているところでございます。その後には他県でも色んな例がありますが、やはり双方向で行うことができれば休業になっても対応できると思います。今年から35人学級ということで順次広がっておりますが、40人近い子供が一つの画面で先生と向き合っていて、果たしてできるのかという不安ももっているところでございます。まずは先ほど申しましたとおり稲沢の場合は、今回整備したタブレットは、家には持ち帰らないということで、今後長期休業があった場合は、ご家庭のタブレットやスマートフォンに対して先生から送るという使い方がおそらく考えられるのではないかと思います。その時もやはり情報量のことに対して配慮して、そういった家庭環境の方にも最大限の努力をしていかなければいけないと思っております。アメリカや中国の話がありましたように、日本は大変遅れているということも実際にはあります。本当に遅れているということだけでいいのか悪いのか、私もこの間こういった議論あるいは予算の査定をしてきた中で何とか使わなければいけないということもありますが、子供たちが今でも家庭のスマートフォンやゲーム機によってある意味デジタル環境に浸かっている実態もあるという状況の中で、そういったことにも配慮しなければいけないのではないかと考えているところであります。これに関しまして、委員いかがでしょうか。

#### ○委員

今までの先生方と重なるようなこともあります。本当に稲沢の場合は全くないところからこの1年で大変な思いをして準備をされている最中だと思えます。具体的にどこまで配備している、先生同士でこれだけの使用をして少し情報交換しているなどどのような状況なのか、4月にいきなりどうぞという状況では中々難しいと思えますので、状況を教えていただければと思います。これだけの大規模予算を使って配備した物についても、色んなことを考えていかなければいけない時期がくると思いますが、それについては国や市が考えてみえるのか、いざとなれば保護者に声がかかるのか教えて頂きたいです。

#### ●学校教育課長

まずタブレット端末については、12月初旬より順次各校に納入、設定作業を進めているところであります。またWi-Fi環境を整えるためのLAN工事の整

備も必要ですので、それにつきましても庶務課の方で順次進めているところがあります。さらに研修といいますか、タブレットを操作する機会はどうなのかということですが、これにつきましては先ほどの「稲沢市G I G Aスクール構想推進委員会」で既に12月に1回業者の方に来ていただいて、実際操作する研修会をしました。さらには年が明けた1月13日から昨日まで合計5回に渡りまして、毎回30人以上の教員を集めながら業者の方に来ていただいて、実際にタブレット端末そのものを触って先生方が研修をするというようなことを進めてきております。今後につきましては、3月10日に最後の研修会を予定しております。少しでも早くそれぞれの職場で先生方が触る機会を設けながら来年度を迎えられたらと考えております。

更新については、5年か6年先になるものと思われませんが、本来的には国の施策によってこのG I G Aスクール構想というものがありますので、国の予算においてなされるべきと考えておりますが、これが各自治体持ちになるのか、委員の御指摘があったように保護者の方にご迷惑をお掛けすることになるのかといったことについては、今現在情報を持っておりません。

◎市長

今の中で12月から既に納入されたところもあるということですが、学校の中でそれを使った研修は行われたところがありますか。

●学校教育課長

これにつきましては、実際本年度の中で多額の予算を投資して納入、設定をやっておりますが、やはり32校全ての納入、設定が終わった段階でそれ以降初めて使って良いというような流れが手続き上ありまして、12月に納入、設定されたからその翌日からその学校で触れるといったことができずにいるのが現状です。

◎市長

予算につきましては、昨日愛知県市長会の役員会に出席しまして、西尾張ブロックから更新の予算、あるいは日常の維持管理の予算についても、国費でお願いしたいということ国に対して出すように議案として提案したところがございます。今度の愛知県市長会で提案されると思います。委員いかがでしょうか。

○委員

全ての科目がそれだけ準備ができていない状態で、4月から1日1、2回の活用ができますか。例えば算数でも国語でも、何か一つの科目を学校でやってみれば、良い悪い、これはまだ子供たちには早いなどわかり、先生同士の共有

ができるのではないかと思います。まず一つのことをやってみて判断するという考え方はどうでしょうか。

◎市長

一つの科目で試行的にやってみるのはどうかというお話ですが、いかがでしょうか。

●学校教育課長

貴重な御意見をありがとうございます。委員から頂いた御意見もそのとおりだと思います。委員がおっしゃるようなやれることからやるといった意見も賜りました。各学校においてICT支援員の方に入っただきながら、どのような活用場面がまず入口として子供たちにとって、教員にとってやりやすく有効なものになるかやれるところからやっていきたいと考えております。ありがとうございます。

◎市長

学校の先生方もICT機器に対するそれぞれの教員の方のスキルの違いというものは一番心配されているところだと思います。こういった計画を立てても本当にそのとおりにできる方、できない方、得意な方などそれが必ずしも教育全てに関わることではないと私も思いますけれども、私の方からは非常に大きな費用をかけて整備したことでするので、できるだけ活用してくださいという話はいつもしています。学校としても非常に大きな悩みを抱えていらっしゃるのだと思いますので、恒川教育長からお話を聞きたいと思います。

○教育長

令和3年ですが、稲沢市としてはICT元年と捉えて、今研修会や会議等話をしているところであります。全ての児童生徒の学びを成長させるICT環境でありたいという願いのもとでやっておりますが、全ての先生方に早く慣れてくださいとっておりますけれども、タブレット活用事態が目的化しないようにしてほしいと思います。どこでどのように使うのが一番有効的なのかしっかり考えた活用方法が大事ですということも言っております。色々な話の中で知らないで終わってはいけないので、情報の共有などここではこれが良いと言われたら使えるようにそのノウハウ等しっかり理解していただきたいと話をしているところであります。あと文科省も言っておりますが、タブレット端末等のICT機器を使うことによって健康に対して心配ということも言われておりますので、健康に対する配慮は十分していかなければいけないと念頭において指導していかなければいけないと捉えております。いざという時に市長さんもお話になったように臨時休業という場合の対応については、これからの検討課



題であります。

◎市長

非常に大きな金額を掛けて整備しました。子供たちが私たちが心配している以上に実は使いこなせるのではないかとも思っています。逆に先生方の方がついていくことができないのではないかということも思うところではあります。教育長から話があったように、子供たちがこういったものにもあまりにも浸りすぎてしまって、それ以外のこれまでの学習に対して身をいれることができないという状況になるのも心配の種でございます。そういったことで一番目の「GIGAスクール構想の推進について」は以上にしたいと思います。ほか御意見等ありますでしょうか。

○委員

今家庭のオンライン授業を進めるにあたっての家庭環境調査を試験的にやられたということですが、5月に行われる学力・学習状況調査というものがあるのですが、その中の調査にはそのような項目はないでしょうか。

●学校教育課長

家庭環境のWi-FiなどのICTに関するところまでのご家庭に対しての質問はなかったと記憶しています。

○委員

全国の一斉の調査ですから、文科省としてもそういうことを求めているのではないかと思いましたので、県や国の方で機会があれば要望していただきたいです。

◎市長

ありがとうございます。今の御意見もありましたので、稲沢単独でもできないことないと思いますので、そういったことの調査をしていただきたいと思います。新型コロナウイルスの感染症拡大によって、家庭の所得の状況に格差が生まれている御指摘もでございますので、そういった格差によって学習面に差がつかないような配慮をお願いしたいと思います。

それでは続いて二つ目の「中学生の制服のあり方について」を協議したいと思います。担当課から説明をお願いします。

●学校教育課長

(別添の資料により説明)

◎市長

この中学生の制服につきましては、市長選挙の公約の中に入れておりました。選挙の公約でございますので、何とか本年度から検討を開始していただけない

かということで今年度からの検討、着手をお願いしたところでもあります。先頃のオリンピックの方の発言でもありましたようにジェンダーというものに対する考え方がオリンピック憲章等にもしっかりと訴えられております。そういった子供たちからの要望が、数は多くないかもしれませんが、あると聞いております。犬山市も一宮市も先ほど申しましたように、女性がブレザーを着てもスラックスを履いても良いとなっておりますので、私としてもそういう自分の考えで公約は出しましたが、教育委員の皆様の意見もぜひとも伺いたいと思ひまして、テーマにさせていただきました。委員はいかがでしょう。

○委員

私は大賛成です。本当に色々な気持ちを持った子たちがいますし、これから増えてくると思います。積極的に進めていただきたいと思ひます。

◎市長

実は、もう一つ私の考えたものの中に一宮市が特産の毛織物の消費のために尾州の毛織物を使えないかという考えが始めにあったそうです。ところがそれを発表した時は、アルマーニの制服の話があった時分だったので、アンケートを取ったら反対が多かったというのがあり、仕切り直してもう一度やったそうです。一宮市と稲沢市は尾州の毛織物のファッションデザインセンターというものに共同で参加しておりますので、こういったものが採用されたら尾州の毛織物を使うということも地場産業を振興するためにも必要なことではないかと考えております。また現行のセーラー服詰め襟というものも当面は両方とも並行して使えるということで考えております。委員いかがでしょう。

○委員

私も賛成であります。生徒自ら考えることを大事に考えたこの提案は素晴らしいことだと思ひます。自分自身も上着とズボンなので、その格好をしていますが性差でどうという時代ではないですので、本当に自ら着たいというものを着られることが大事なことだと思ひます。

◎市長

ありがとうございます。またそれを子供たちが自分で考えるというような仕組み作りを学校教育課の方でぜひともお願いしたいと思ひます。私としては何とか3年間でこういったものを発表できるくらいまでいけないかと思ひております。

○委員

私も全面的に賛成です。私の身近なところに女の子ですが、スカートは絶対嫌だという子がいます。今高校生になりますが、学生服を着て行っています。

要はそのような子がいるということをお我々、現場が受け止めて、自分で選択できる、これを着て通いたいという子がいればそれを認めていくことは、大変必要なことではないかと思ひます。今この学生服が問題になってはいますが、体操服やジャージについても、できるだけ性差がないような感じが私は良いと思ひます。先ほどの話の中で、体操服の素材について考へている話がありましたが、そのところについて詳しく教へて頂きたいです。

◎市長

ジャージの話についてお願いします。

●学校教育課長

先ほどお話しさせていただきました、ジャージの件ですが、御存知のように従来は体操服といひますと白色が夏場は主流でして、しかもやや厚手で速乾性が乏しいといったようなことで、特に女子生徒に不評でございまして、透けてみえることがあるといったようなことであります。

本年度、変えられた学校については、まず色を紺色にして中が透けないようにして、暑い時期にも着れるということで速乾性のもので、肌触りも非常に良いということで改良されたと聞いております。

◎市長

委員いかがでしょうか

○委員

今はそういう時代になっておりますので、急に全校が変えると大変なことになるので、新1年生から順番にやっていくような形をとれば、家庭の負担も少ないのではないかと思ひます。

◎市長

もちろん1年生から順番に、尚且つご兄弟がいたらご兄弟から譲り受けられる方は当面それも大丈夫ということで考へておりますので、賛成の意見いただきましてありがとうございます。

○委員

私の回りでも制服について聞いたことがありまして、今市長さんのお話をお聞きして私もとても素晴らしいことだと思ひます。制服に関して嫌だなと考へているのは生徒さんだと思ひるので、自主性を重んじてどのような形にしていくのかというのを生徒が協議していくのはとても素晴らしいことだと思ひます。

◎市長

生徒の自主性が重んじられるような決定の段取りを重視していただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。恒川教育長いかがでしょうか。

## ○教育長

委員の皆様方から賛同をいただきまして、ジェンダーについて今の状況では中々解決の糸が見えないですが、そういった中で新しい制服、標準服に方向を転換することによって解決できると思っております。ただ一つだけですが、決めたものを押しつけるということはいけませんので、ぜひとも十分に生徒の考えや保護者の方の考えを聞きながら、やっていきたいと思っておりますので少しお時間をいただく中で、委員の皆様方から御意見いただければと思っております。

## ◎市長

1年生に入った子供が3年生の頃にこういった案ができるようなくらいだと時間が取れると思っておりますので、進めていただいて生徒も家庭も納得するような形をお願いしたいと思っております。それでは二番目の項目については以上とさせていただきます。

それでは最後に「屋内運動場のトイレのバリアフリー化について」を協議したいと思います。こちらも非常に大きな問題でございます。屋内運動場は、災害時の避難所としてまたは選挙の投票所としても使われております。そういったことがございますので、この避難所や投票所となる屋内運動場のバリアフリー化の現状、そしてトイレの整備予定につきまして担当課から説明をお願いします。

## ●庶務課統括主幹

(別添の資料により説明)

## ◎市長

去年の稲沢市長選挙からコロナ禍の選挙ということもありまして、まず投票所がバリアフリーであるということ、そして基本的に土足で上がれるということを中心に大きく投票所の再編を行いました。その中でこれまでもありましたが全ての小学校の屋内運動場が投票所となり、また中学校では先ほど話がありましたように稲沢中学校の武道場、そして大里中学校、治郎丸中学校、稲沢西中学校の屋内運動場が投票所になったということを受けまして、今年度については、そこにありますように稲沢北小学校、高御堂小学校、祖父江小学校、来年度既に予算化しておりますが、片原一色小学校、下津小学校、領内小学校、治郎丸中学校で屋内運動場へのスロープの設置、そして屋内運動場に付属するトイレの洋式化を行う予定です。令和4年度以降については、あくまでも予定でございますので、予算の都合で変わってくると思っておりますが、こういった予定で進めたいと思っております。この計画について御意見等いただければと思います。委員いかがでしょうか。

## ○委員

避難所として学校を使うということで以前から気になっていましたが、今回トイレの洋式化ということで、避難の際にも使えるように車椅子の使用が可能になるような形で考えられているのかお聞きしたいです。

### ●庶務課統括主幹

今回はまず投票所ということでバリアフリー化でスロープを設置して、車椅子の使用が可能になるように計画を進めております。トイレにつきましては、そもそも車椅子で入れるスペースがない学校が多く、例えば旧稲沢市でいいますとプールと体育館のトイレを兼用で使用しているところがあり、入口が狭く車椅子がそのまま入れないため入口で止まって、誰かの介助が必要になります。中に入ってから、段差は今回解消しましたので、和式便器から洋式便器に交換したことによって、近くまで行くことが可能になり使用できます。

入口が狭いということがございますので、車椅子がそのまま入れる多目的トイレが設置されているわけではございませんので、あくまで和式便器を洋式便器に変えましたという形ですので、御理解いただければと思います。

## ◎市長

基本的な設計上制約があるということでございますので、誠に申し訳ございませんが、全てのところで車椅子のままそこまでいけるということで、トイレの場合はそうではないということになります。今投票所は仮設のスロープのところについては、今後はスロープを作って車椅子で投票していただくという状況になります。委員いかがでしょうか。

## ○委員

バリアフリー状況と記載されておりますが、車椅子ごとトイレに入れないところは、バリアフリーとは言わないと思うので、洋式化に変えた方が良くと思います。避難所としても使われるということになれば、必ず必要になると思います。どのような形で作られる予定ですか。男女に分かれていますか。避難所で一番問題になるのは、トイレです。

### ●庶務課統括主幹

今年整備させていただきましたのは、令和2年度でまず稲沢北小学校について、男子便所で既設が和式が3カ所で、2カ所洋式に変えています。女子便所については、和式5カ所だったところを3カ所、高御堂小学校については、男子便所が和式が3カ所から洋式2カ所、女子便所が和式5カ所から洋式4カ所、祖父江小学校については、男女各既設、新設1カ所と女子が2カ所ずつです。

来年度につきましても、令和3年度の予定している学校については、おおむ

ね3カ所、男子便所については2ないし3、女子便所については3ないし5の洋式化の数になる予定です。

◎市長

どちらにしても多目的トイレにはならないということですので、これにつきましては、今後個別施設計画を学校についても作っておりますので、学校施設の長寿命化、大規模改修が行われた時に併せてこういったものと整合性を取っていかなければいけません。行ったばかりのところをすぐまた行うというのも、もったいないので、また校舎の位置等も変わるような大規模な改修もありますので、屋内運動場に近いところについては、災害時のことも考えて最低一つはそういった多目的トイレのことも考えていく時代がきていると思います。今すぐには中々予算面が難しいです。

●庶務課統括主幹

多目的トイレがある学校もあります。例えば祖父江地区でいいますと、山崎小学校が屋内運動場に多目的トイレがあります。旧稲沢市ですと稲沢東小学校や稲沢西小学校はまだ平成19年や平成25年に建設したばかりですので、多目的トイレがございませぬ。今後建替の場合については、多目的トイレは当然つくということになると思います。

◎市長

そういったこととございませぬので、よろしくお願いいたします。

○委員

市役所のトイレについてはいかがですか。東庁舎はバリアフリー化されていると思います。

◎市長

市役所もコンクリートの建物になっているので、難しいのですが令和3年度の予算で本庁舎の方も変えることも考えております。そのかわりトイレの基数は少なくなります。委員いかがでしょうか。

○委員

トイレの洋式化についても順次やっていただけるのは、大変ありがたいことだと思っております。ほとんど今の子供たちは洋式の経験しかないのではと思います。私の経験ですが、母親と一緒に投票に行く際に車椅子があるからということで、学校で車椅子を借りて行っておりました。要は、お年寄り、障害をお持ちの方も安心して投票できるような環境というのは非常に大事だと思ひますし、最後寝たきりになった時には無理に連れて行くことはしませんでした、そういったことも考えながらやはりここに書いてある素晴らしいこと「誰一人

置き去りにしない、人にやさしいまち」こういうのを考えていただけるといいなと思います。

◎市長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

○委員

私も実は学校開放でスポーツをさせていただいている時には、トイレを利用させていただいておりますが、本当に申し訳ないのですが、暗いし、使いにくいし子供たち大変だなと思っておりました。今回のお話を聞いて、学校の体育館のトイレも使いやすいと子供たちも喜ぶと思います。トイレの洋式化だけでなく、スペース全体の手洗いの場面とか照明も改良されているのでしょうか。

●庶務課統括主幹

今のお話にありましたのは、去年の3月に個別で各学校全ての教室や屋内運動場など色々な部分の照明の現状調査をさせていただきました。新たにLED化を進めようということで、計画を作ろうかという段階です。そちらの方で整備しようと思っております。

◎市長

次の課題ということでよろしく願いいたします。委員いかがでしょうか。

○委員

学校は学校、選挙、避難所ということで、小さい子からお年寄りまで色々な方がいらっしゃると思います。市役所のことをいって申し訳ないのですが、社会福祉協議会などお互い情報共有すればもっと早くもっと良いものをたくさん提供できるのではないかと思います。

●庶務課統括主幹

私も建築課にいた経験もありまして、そちらの方で市内の工事等は一括で事務執行依頼を受けて工事を発注しております。建築課の方がほぼ全体を把握しており、工事の方も進めておりますので、情報が伝わらないということはないと思います。そちらの方から情報を得ながら進めてまいりたいと思います。

◎市長

情報の共有はできているけれども、申し訳ないのですが今の本庁舎が昭和45年に建ち、50年が過ぎました。そういったことをごさいますて、また作りが鉄筋コンクリート作りで、壁が簡単に壊せないというようなことがあって、この中で多目的トイレを作るにしても、大騒動という感じで今までやってきました。今回は1階のところを変える予定ですが、どうしても基数が減ってしまうということがございますので、稲沢市の弱点だということは十分理解しており

ます。東庁舎の方は、改善しておりますので利用していただきたいと思います。

子供たちにとっても例えば屋内運動場やプールに近いところに校舎がある子供たちが自分の棟のトイレが和式だという場合でも、これが洋式化することにより使いやすくなるのではと言いましたが、屋内運動場は使わない時は開いていないという話もありましたので、それを何とか考えてもらえないかと思っております。

#### ●庶務課統括主幹

学校に確認したところ、稲沢北小学校と高御堂小学校にはお願いをして、随時毎日開けていただくようお願いをしました。祖父江小学校につきましては、体育館にトイレがございますので、1年中使える状況だと聞きました。

#### ◎市長

おおむねトイレの洋式化も半分やってきておりましたので、そういったところでここが直ることにより、特に低学年の子供たちが使えればということで実はこの打ち合わせの時に私が申し上げた時にこのような話になったので、少し改善してきたと思っております。時間がおおむね過ぎてまいりました。最後に議論を通じて教育長からお願いします。

#### ○教育長

本当に貴重な御意見、御提言いただきましてありがとうございます。ぜひ参考にさせていただいて、これから取り組んでいきたいと思っておりますので、またお気づきになられましたら、よろしく願いいたします。

#### ◎市長

ありがとうございました。委員の先生方から何か今日の議題以外でお話がありましたらお願いします。

#### ◎市長

よろしいでしょうか。それでは私からお礼のごあいさつを申し上げたいと思います。時代が非常に大きく変わっております。資料1を見ていただきますと、Society5.0と書いてあり、Society1.0は狩猟社会、Society2.0は農業社会、Society3.0は工業化社会、Society4.0は情報社会ということでその次にくる時代が来たと国は盛んに言っております。IoT、Internet of things ですがIoTによりサイバー空間、仮想空間と現実空間を連携させるということをいっております。非常に大きな話であり、中々これが人間にとってどうかということも思いますが、そういう中で人が人らしく健全にたくましく育っていくために何が必要かということ、稲沢市の教育としてもしっかりと考えて子供たちが健やかにしっかりと学びを持って育っていただきたいと思うところで



ございます。コロナ禍で大変歳入が厳しい中での令和3年度の予算編成になっております。おそらく令和4年もまだ厳しいと思います。そういった中で全てが中々思うようには予算がつきませんけれども、「子育て教育は稲沢で」といっております中でしっかりとした予算付けを行って、今後とも稲沢市の教育行政を進めていきたいと考えておりますので、教育委員の皆様にもご協力を賜りますようによろしくお願い申し上げまして、私の最後のあいさつとさせていただきます。

●庶務課長

市長ありがとうございました。連絡させていただくことは、ございませんので、これをもちまして、第2回稲沢市総合教育会議を閉じさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

－ 閉 会 －